

第2章 円山動物園が目指す未来

1 円山動物園の基本理念

基本理念

命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園

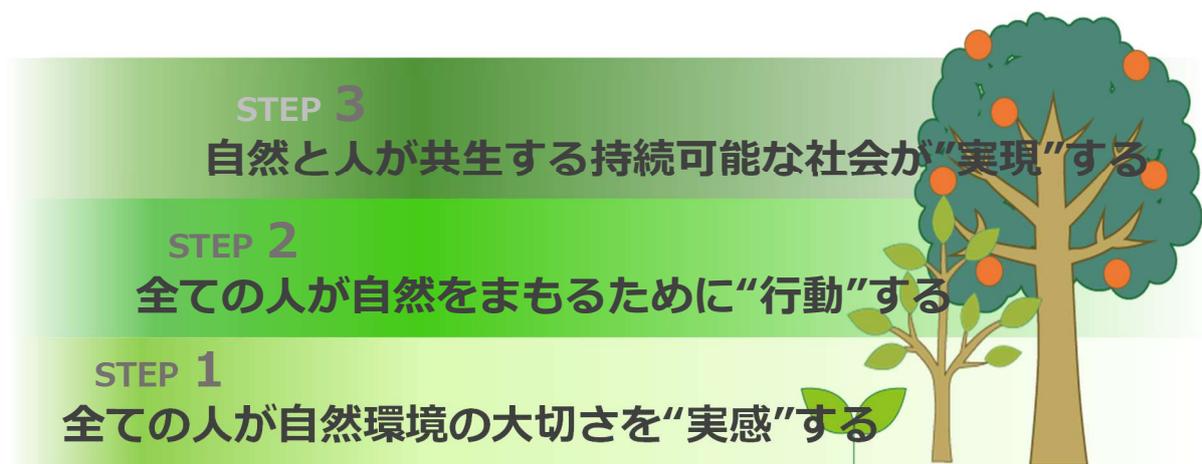
円山動物園は開園 100 年目である 2050 年に向け、「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を基本理念とし、自然と人が共生する持続可能な社会の実現に貢献していきます。

動物たちの命を大切につなぎながら、未来の私たちの環境や動物たちの生息地の環境、そして社会がどのようになっているかを想像し、命の尊さや自然の大切さが感じられる心を育む動物園を目指します。

2 基本理念に基づく取組

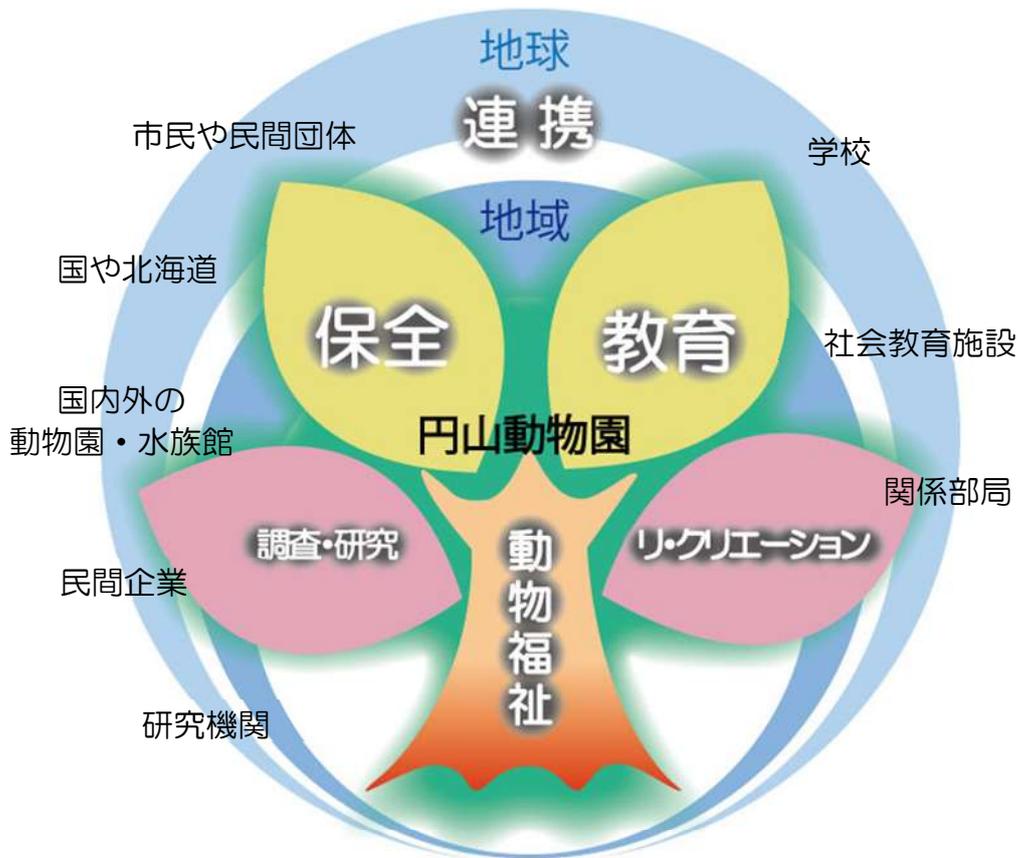
全ての人々が自然環境の大切さを「実感」し、自然を守るために「行動」し、そして、自然と人が共生する持続可能な社会の「実現」に貢献するため、円山動物園は「動物福祉」を根幹に、生物多様性の「保全」、「教育」「調査・研究」「リ・クリエーション※」に力を入れていきます。

次世代の子どもたちに豊かな自然をまもり伝えていくためにも、円山動物園は自然と市民をつなぐ場として、これら 4 つの取組を重点的に推進していきます。



※「ビジョン 2050」では、レクリエーションに代わる表現としてリ・クリエーションを「再創造」と定義して使用する（23 ページ参照）。

3 取組の概念図



この概念図は、円山動物園を一本の「木」にたとえ、円山動物園の取組の位置づけを表しています。

まず、重点項目のうち「保全」と「教育」という葉が大きく高い位置につき、たくさんの葉を茂らせ、身近な地域へ、そして遠く地球全体へと広く大きく展開させます。

次に「調査・研究」と「リ・クリエーション」という葉も、しっかりと茂らせます。日々の観察や科学的根拠に基づく野生動物の生理・生態等の調査・研究に取り組むとともに、憩いの場を提供することも大切です。

木の「根幹」にあたる取組は「動物福祉」です。動物たちの生活の質を向上させる姿勢をしっかりと根付かせ、太い幹をつくることで、円山動物園という木は大きく成長できます。

この木の周囲に広がる輪は、円山動物園が「連携」する動物園を取り巻く世界を示しています。市民や民間団体、国内外の動物園・水族館、民間企業、研究機関、社会教育施設などといった、周りの木々とともに豊かな森を形成し、「命をつなぎ未来を想い 心を育む動物園」を目指します。